

試験成績報告書

依頼者名：甲南軽金属株式会社 殿

住所：大阪府高石市羽衣 5-11-17

一般財団法人 日本文化用品安全試験所
大阪事業所 製品安全部
〒578-0921 大阪府東大阪市水走 3-6-14
TEL 072-968-2226

2026 年 6 月 29 日にご依頼のありました試料の試験結果を以下にご報告申し上げます。

試験品名	アルミ面格子 アンプリフォーム	2 点
試験項目	耐荷重性試験	
試験実施日	2026 年 8 月 3 日	

試料写真：



溶接あり



溶接なし



外枠寸法
1000 mm × 1200 mm

備考		承認		担当者	
----	--	----	---	-----	---

*本試験成績報告書の内容を広告物などに掲載する場合は、あらかじめ本財団に届け出てください。

*本試験成績報告書の一部分だけを複製して使用しないようお願いします。*本試験成績報告書は、提出された試料について試験・検査したものです。

試験方法及び結果

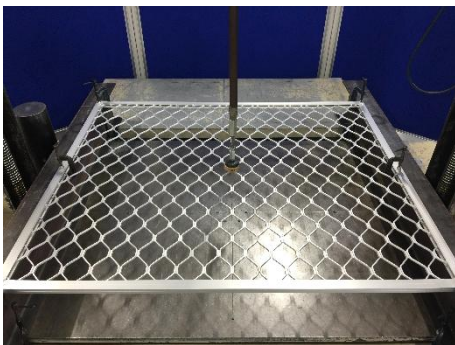
試験方法

水平な鋼板床面上に支持台を設置し、試料の室内側の面が上向きとなる様に、短辺側の外枠を支持台に置いて固定する。次に、下記の負荷位置に、直径 50 mm の円形当て板を介して、600 N の鉛直荷重を 30 mm/min の速度で 10 秒間加え、最大荷重時の変位量及び状態、また、除荷後の状態について調べる。なお、各試料の負荷位置は以下の通りとする。

【負荷位置】

溶接あり：面格子ユニット中央部

溶接なし：長辺方向の中心線上で中央部の 1 列隣の位置（※ 補足参照）



試験状態（溶接あり）

結 果

試 料	状 態
溶接あり	最大変位量：55 mm 最大荷重時の状態：異状は認められなかった。 試験後の状態：異状は認められなかった。
溶接なし	最大変位量：40 mm 最大荷重時の状態：異状は認められなかった。 試験後の状態：異状は認められなかった。

補 足

試験方法は依頼者との協議により、優良住宅部品性能試験方法書（面格子 BLT GW:2026）BLT-GW-04 を参考に実施した。

溶接なしの負荷位置については、面格子ユニットの中央部が開口部にあたり、規格に規定される格子中央部への負荷が構造的にできないため、依頼者からの指示により、試験方法に記載の位置で実施した。最大変位量は加圧子の変位を記載した。

試験後の状態は目視及び触感により調べたが、詳細については別途現品による確認が望まれる。

以 上